令和７年度 事業報告書

（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）

法人の名称 特定非営利活動法人 かわさき市民共同おひさまプロジェクト

１ 事業の成果

太陽光発電設置推進のため、イベント出展活動において設置相談助言活動に注力した。川崎市の地球温暖化対策推進の施策に協力して効果的に活動を推進するために情報収集に努めた。関連団体と連携した活動では、市公共施設の屋根貸し太陽光発電事業の取り組みに協力した。

２ 事業内容

（１）自然エネルギー設備の設置に係る相談助言事業

川崎市内の町内会１件、自治会１件から、会館に太陽光発電や蓄電池を設置することについての説明会の要望を受け、ソーラーチームと共同で説明を行った。会館だけでなく地域の住宅などにも設置すれば、災害にも強い地域になると説明した。

屋根置きの太陽光発電の設置、特に既築住宅への設置を促すために作成したリーフレット「日の当たる屋根は宝の山」を使ってイベント活動の場で広報・相談助言活動を実施した。関心を持ってくれる人もいたが、具体的な相談助言には至っていない。

・日時　　通年
・場所　　川崎市内
・従事者人員　　５人
・受益対象者　　川崎市民及び川崎市内在勤者
・支出額　　３，０８０円

（２）自然エネルギー設備の設置・維持管理事業

（ア）おひさま１号機・２号機の維持管理

１号機（川崎市国際交流センターの太陽光発電）の発電量測定、２号機（川崎フロンターレ麻生クラブハウスの太陽熱温水器）の集熱量測定を継続した。１号機は、9月から10月の発電量が日射量(東京)と比べて低かったのでセンターに聞いたところ、天窓の半分をシートで覆っていたとのこと。「地球温暖化に伴う気温上昇により館内ご利用のお客様より多くの苦情が寄せられ、一部の方は体調を崩されたことから館内温度対策として試験運用として設置した」とのこと。

２号機は設備使用に関する契約期間が2025年10月に終了したので、川崎フロンターレ株式会社に設備を無償譲渡した。おひさまレターにこれまでの集熱量を報告した。太陽熱温水器が有効な自然エネルギーであることを実証できた。温水器故障の際の修理費予算として15年間アクト川崎に預けていた30万円（寄付で集めたもの）は、おひさまとアクト川崎で半額ずつ受け取り、今後の活動費として活用していくこととする。

・日時　　通年
・場所　　川崎市内
・従事者人員　　５人
・受益対象者　　川崎市民及び川崎市内在勤者
・支出額　　４，０８５円

（３）自然エネルギーや省エネルギー等に関する情報発信及び普及啓発事業

（ア）各種イベントにおける普及啓発事業

「おひさまフェス×星空上映会2025（5月18日）」、「あさお区民まつり（10月12日）」、「インターナショナル・フェスティバル（11月9日）」に参加し自然エネルギーの普及活動を行い、災害時にも役立つソーラーエネルギーの紹介・実演をした。「屋根は宝物チラシ」を使って既築住宅などへの太陽光発電設置提案活動を行った。集合住宅に住んでいる人には電気を再エネ中心の電気を供給する新電力会社に変える提案を行い、変えたいという反応が複数あった。

・日時　　5月18日、10月12日、11月9日
・場所　　川崎市内
・従事者人員　　５人
・受益対象者　　川崎市民及び川崎市内在勤者
・支出額　　５，４３４円

（イ）情報発信事業

プロジェクトレター№23を作成し2026年2月発行、会員及びこれまでの自然エネルギー事業への協力者に対して送付した。また、当プロジェクトのホームページに掲載し、情報発信を行った。以下の記事を掲載している。

・町内会館、自治会館への太陽光発電と蓄電池設置の提案を実施
・麻生市民館太陽光発電所の稼働状況、川崎市内の太陽光発電導入状況
・川崎市地球温暖化対策推進第２期実施計画(案)パブコメ意見提出
・イベントに参加し、太陽光発電等の普及活動実施
・１号機太陽光発電、２号機太陽熱温水器の報告

・日時　　通年
・場所　　川崎市内
・従事者人員　　５人
・受益対象者　　会員及び協力者、川崎市民及び川崎市内在勤者
・支出額　　１９，４６１円

（４）行政や社会への提案・提言事業

「脱炭素アクションみぞのくち推進会議」に参加して登録団体との情報交換を行った。川崎市地球温暖化対策推進第２期実施計画(案)について、パブリックコメントが行われ、おひさまとして意見を提出した。回答を受けて、今後の活動に生かせることを検討した。

・日時　　通年
・場所　　川崎市内
・従事者人員　　５人
・受益対象者　　会員及び協力者、川崎市民及び川崎市内在勤者
・支出額　　０円

（５）その他各号に付帯する事業

（ア）関連団体との連携した活動

自然エネルギー普及の目的を共有する「川崎地域エネルギー市民協議会」と「NPO法人市民電力連絡会」に引き続き参加し情報の共有を図りながら活動を推進した。また、CCかわさきエコ会議理事会に参加し、参加団体と情報交換を行った。

・日時　　通年
・場所　　川崎市内
・従事者人員　　５人
・受益対象者　　川崎市民及び川崎市内在勤者
・支出額　　４，０００円

（イ）個別事業の支援

麻生市民館・図書館太陽光発電所（川崎市公共施設の屋根貸しによる太陽光発電設置事業）を運営している川崎地域エネルギー市民協議会／川崎地域エネルギー株式会社と連携し、本設備に関する支援活動（発電所見学会、３年目点検、パネル清掃）を行った。

・日時　　通年
・場所　　川崎市内
・従事者人員　　５人
・受益対象者　　川崎市民及び川崎市内在勤者
・支出額　　０円